

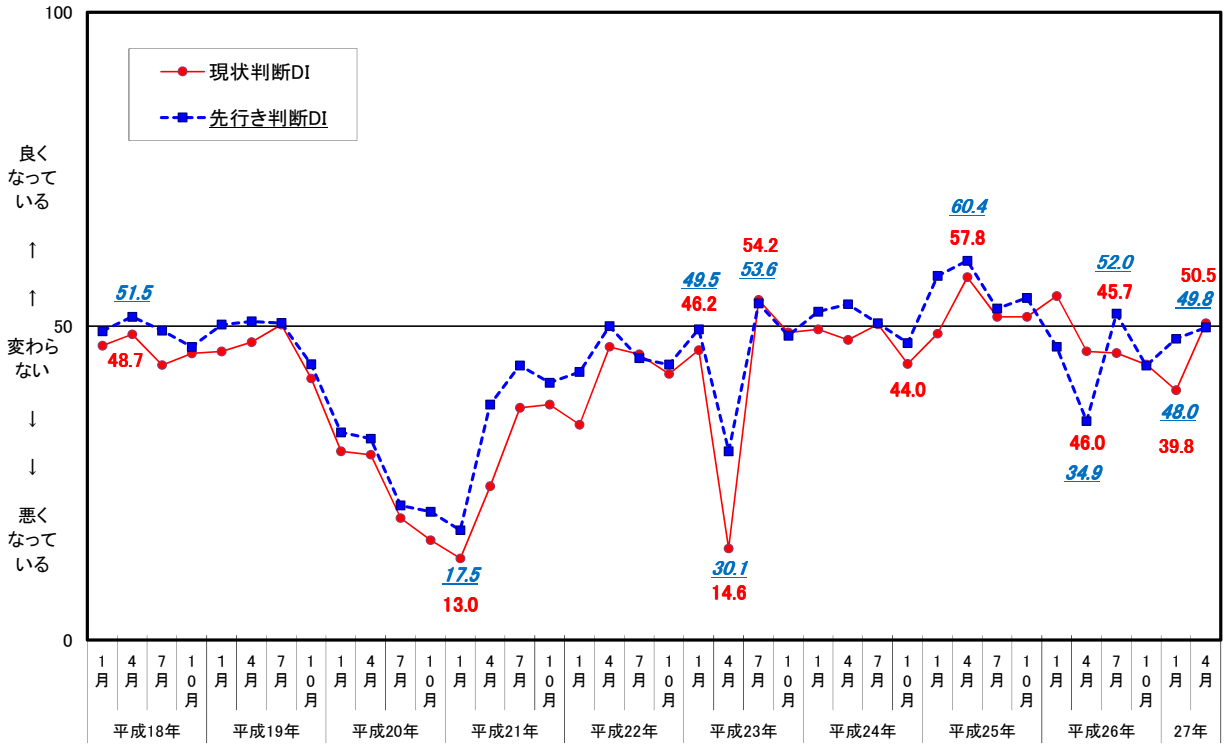
青森県景気ウォッチャー調査 (平成27年4月期)

調査期間 平成27年4月1日～4月13日 回答率100%

概 況

4月期の景気の現状判断DIは50.5と、5期ぶりに横ばいを示す50を上回った。先行き判断DIは49.8と、3期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成27年4月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント増加、「やや良くなっている」が14.0ポイント増加、「変わらない」が4.0ポイント増加、「やや悪くなっている」が11.0ポイント減少、「悪くなっている」が8.0ポイント減少したことにより、全体では10.7ポイント増加の50.5となり、景気の横ばいを示す50を5期ぶりに上回った。

判断理由では、消費の冷え込みが続いている、食料品を中心に値上げが続き、購買行動が慎重になっているといったマイナス面をあげる声がある一方で、原油価格の下落の影響や住宅販売の動きが出はじめてきたといった声のほか、天候に恵まれ春物衣料が好調、雪解けも早く人出も多いといった暖冬の好影響をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、雇用関連で10.7ポイント減少したものの、家計関連全体で13.0ポイント増加、企業関連で9.7ポイント増加した。特に、家計関連の飲食で大幅な増加となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区で増加し、東青、下北地区では景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が横ばい、「やや良くなる」が1.0ポイント減少、「変わらない」が6.0ポイント増加、「やや悪くなる」が2.0ポイント減少、「悪くなる」が3.0ポイント減少したことにより、全体では1.8ポイント増加の49.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で下回った。

判断理由では、円安に伴う輸入食品及び原材料の上昇から国内生産品の値上がりを懸念する声や、値上げが続く中で所得増加も期待できず、節約志向が続くことが懸念されるといった声があったものの、ゴールデンウィークや行楽・イベントがあるので人が動く、観光客が多いと売上にも景気にも繋がるなど、観光・行楽シーズン到来による消費回復に期待する声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.6ポイント増加、企業関連で1.4ポイント減少、雇用関連で横ばいとなった。家計関連の飲食で5期連続で景気の横ばいを示す50を下回った。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青、津軽地区でポイントが増加し、県南、下北地区では横ばいとなった。下北地区では、2期連続で景気の横ばいを示す50となった。

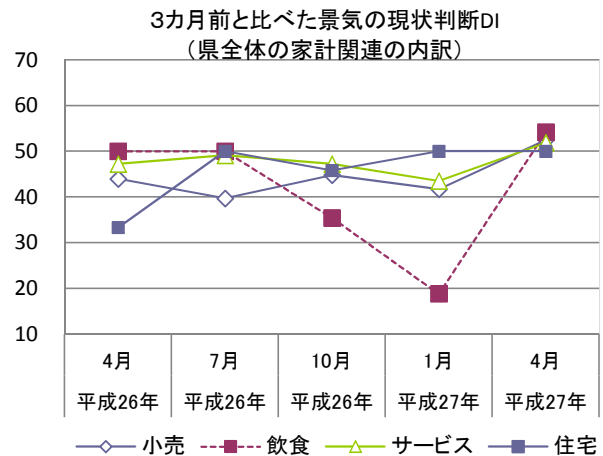
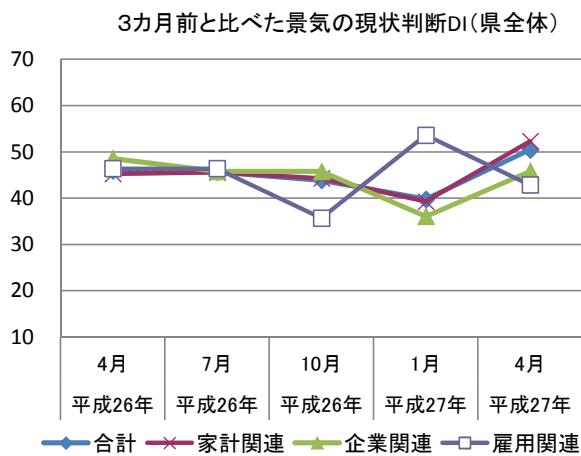
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

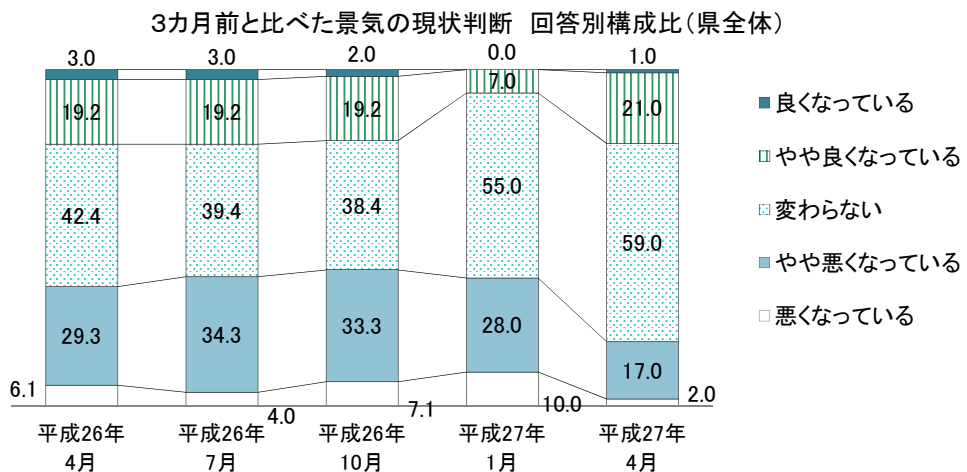
n = 100

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	46.0	45.7	43.9	39.8	50.5	10.7
家計関連	45.3	45.6	44.3	39.3	52.3	13.0
小売	44.0	39.7	44.8	41.7	52.5	10.8
飲食	50.0	50.0	35.4	18.8	54.2	35.4
サービス	47.2	49.1	47.2	43.5	51.9	8.4
住宅	33.3	50.0	45.8	50.0	50.0	0.0
企業関連	48.6	45.8	45.8	36.1	45.8	9.7
雇用関連	46.4	46.4	35.7	53.6	42.9	▲ 10.7



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.0	3.0	2.0	0.0	1.0	1.0
やや良くなっている	19.2	19.2	19.2	7.0	21.0	14.0
変わらない	42.4	39.4	38.4	55.0	59.0	4.0
やや悪くなっている	29.3	34.3	33.3	28.0	17.0	▲ 11.0
悪くなっている	6.1	4.0	7.1	10.0	2.0	▲ 8.0



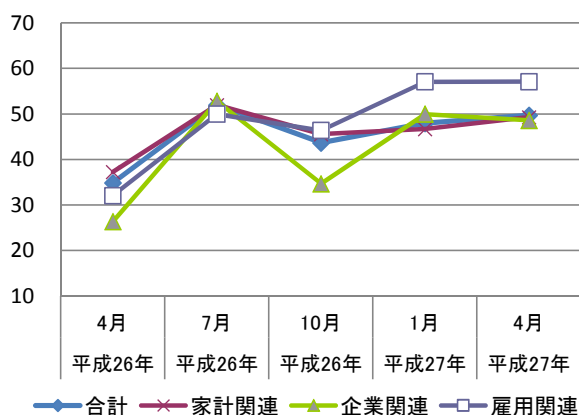
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

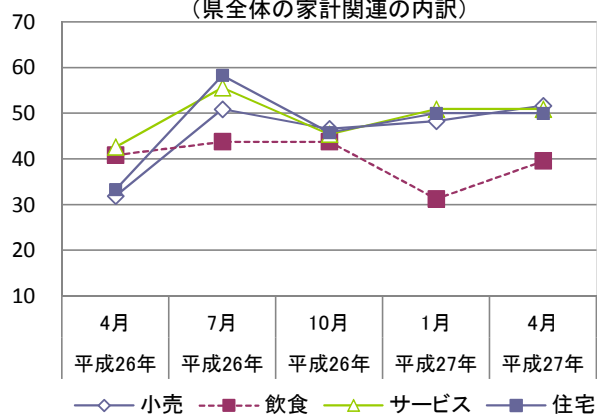
n = 100

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	34.9	52.0	43.7	48.0	49.8	1.8
家計関連	37.3	52.0	45.6	46.7	49.3	2.6
小売	31.9	50.9	46.6	48.3	51.7	3.4
飲食	40.9	43.8	43.8	31.3	39.6	8.3
サービス	42.6	55.6	45.4	50.9	50.9	0.0
住宅	33.3	58.3	45.8	50.0	50.0	0.0
企業関連	26.4	52.8	34.7	50.0	48.6	▲ 1.4
雇用関連	32.1	50.0	46.4	57.1	57.1	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



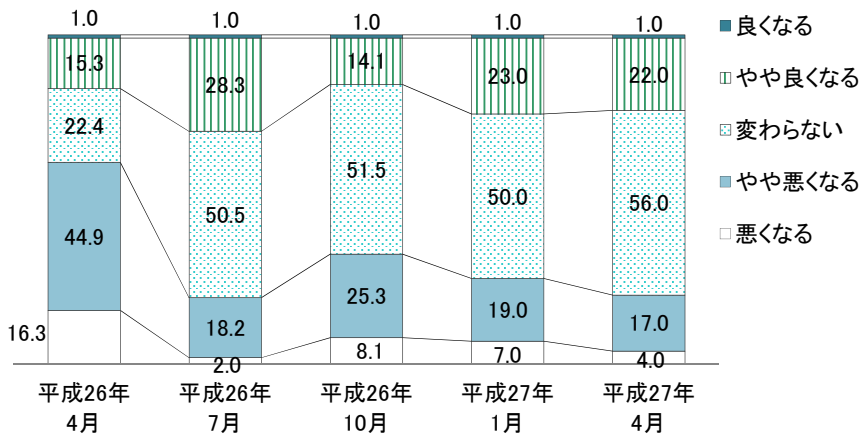
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	15.3	28.3	14.1	23.0	22.0	▲ 1.0
変わらない	22.4	50.5	51.5	50.0	56.0	6.0
やや悪くなる	44.9	18.2	25.3	19.0	17.0	▲ 2.0
悪くなる	16.3	2.0	8.1	7.0	4.0	▲ 3.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)



3. 地区別の動向

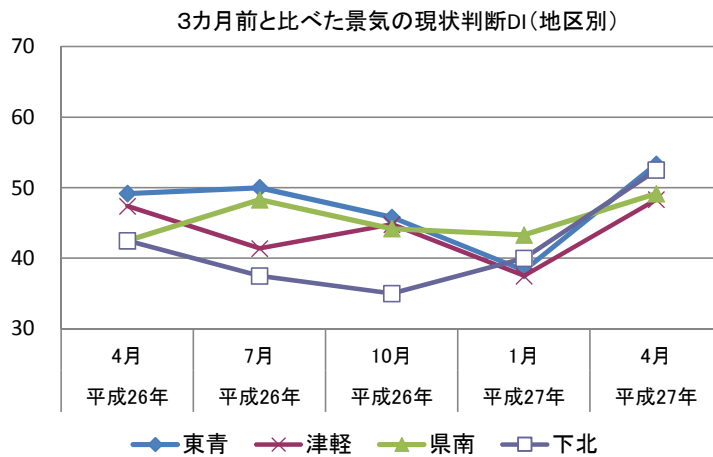
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

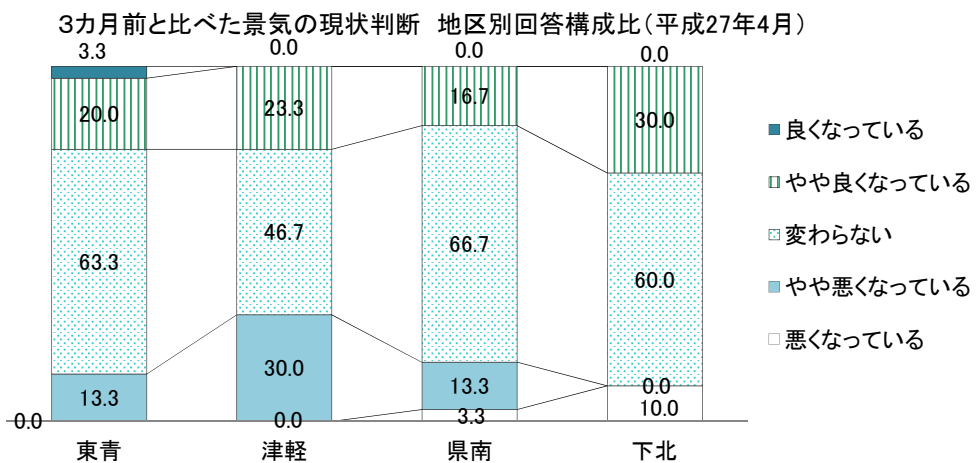
n = 100

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	46.0	45.7	43.9	39.8	50.5	10.7
東青	49.2	50.0	45.8	38.3	53.3	15.0
津軽	47.4	41.4	44.8	37.5	48.3	10.8
県南	42.5	48.3	44.2	43.3	49.2	5.9
下北	42.5	37.5	35.0	40.0	52.5	12.5



②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	23.3	16.7	30.0
変わらない	63.3	46.7	66.7	60.0
やや悪くなっている	13.3	30.0	13.3	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	3.3	10.0



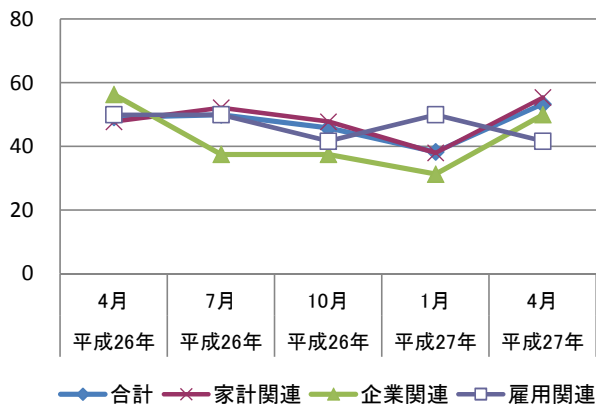
<東青地区>

①D I

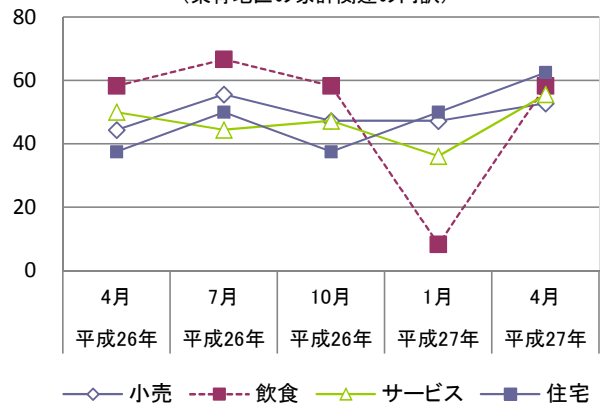
n= 30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	49.2	50.0	45.8	38.3	53.3	15.0
家計関連	47.8	52.2	47.8	38.0	55.4	17.4
小売	44.4	55.6	47.2	47.2	52.8	5.6
飲食	58.3	66.7	58.3	8.3	58.3	50.0
サービス	50.0	44.4	47.2	36.1	55.6	19.5
住宅	37.5	50.0	37.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	56.3	37.5	37.5	31.3	50.0	18.7
雇用関連	50.0	50.0	41.7	50.0	41.7	▲ 8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



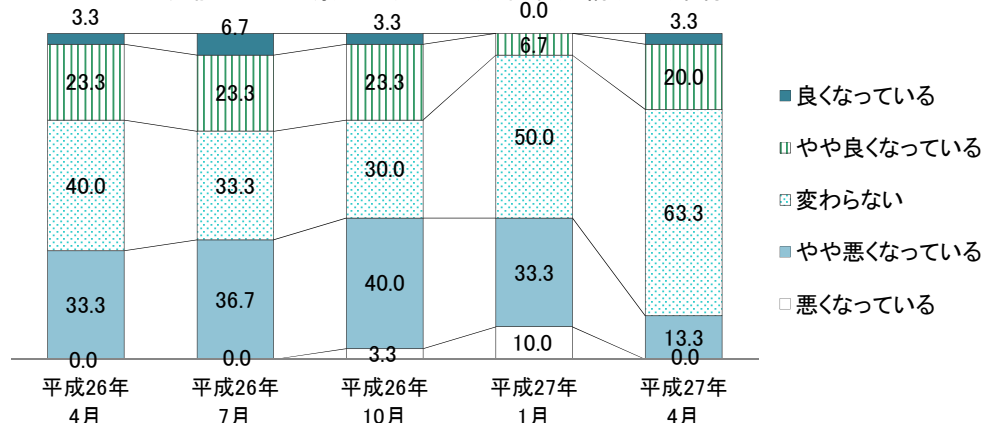
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	6.7	3.3	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	23.3	23.3	23.3	6.7	20.0	13.3
変わらない	40.0	33.3	30.0	50.0	63.3	13.3
やや悪くなっている	33.3	36.7	40.0	33.3	13.3	▲ 20.0
悪くなっている	0.0	0.0	3.3	10.0	0.0	▲ 10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



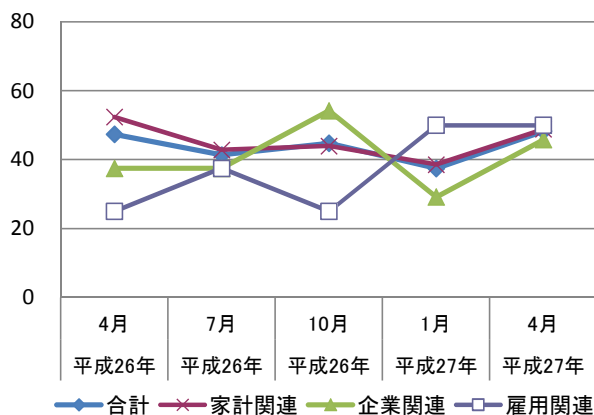
< 津軽地区 >

① D I

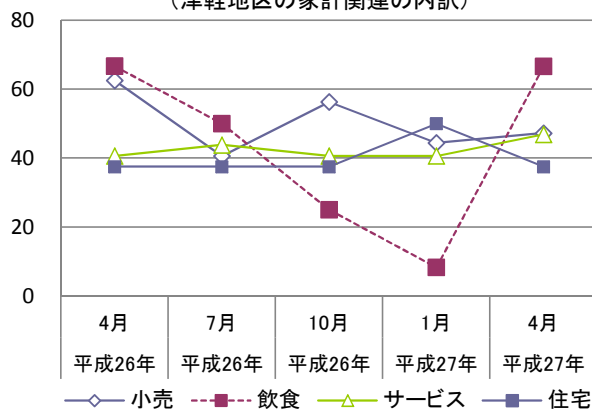
n = 30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	47.4	41.4	44.8	37.5	48.3	10.8
家計関連	52.4	42.9	44.0	38.6	48.9	10.3
小売	62.5	40.6	56.3	44.4	47.2	2.8
飲食	66.7	50.0	25.0	8.3	66.7	58.4
サービス	40.6	43.8	40.6	40.6	46.9	6.3
住宅	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	37.5	37.5	54.2	29.2	45.8	16.6
雇用関連	25.0	37.5	25.0	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



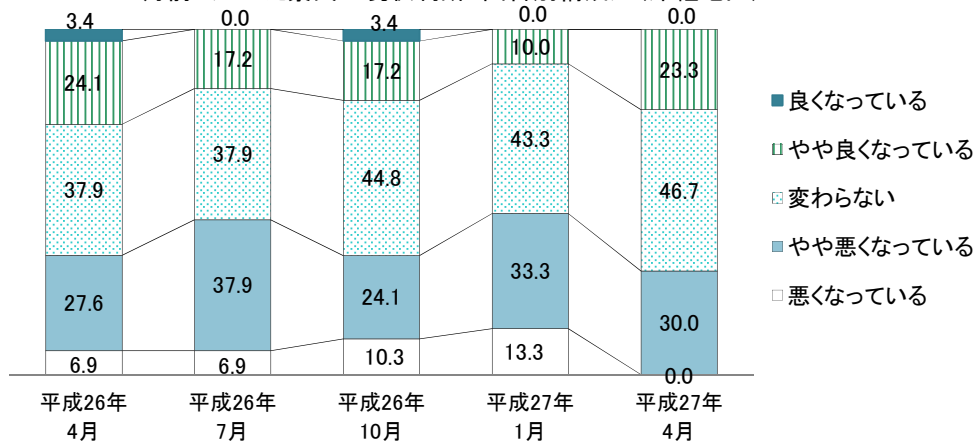
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	24.1	17.2	17.2	10.0	23.3	13.3
変わらない	37.9	37.9	44.8	43.3	46.7	3.4
やや悪くなっている	27.6	37.9	24.1	33.3	30.0	▲ 3.3
悪くなっている	6.9	6.9	10.3	13.3	0.0	▲ 13.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)



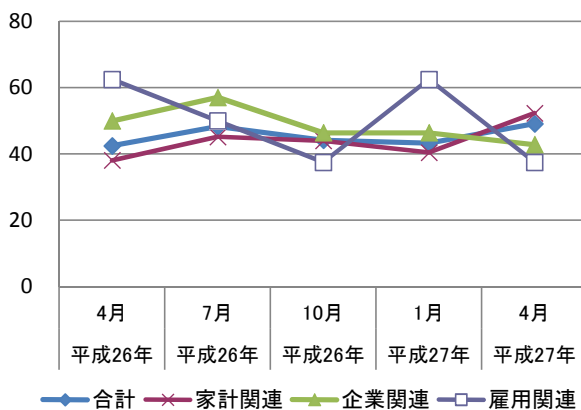
< 県南地区 >

① D I

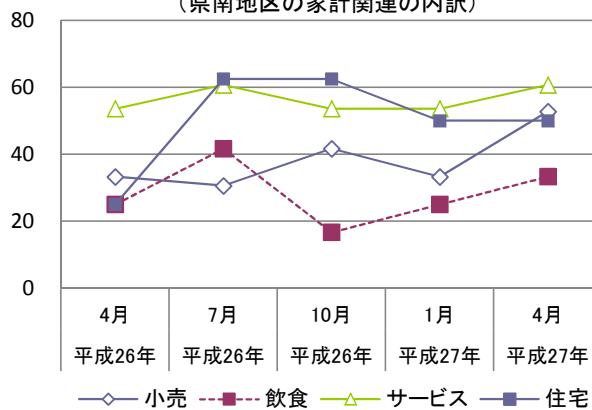
n = 30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	42.5	48.3	44.2	43.3	49.2	5.9
家計関連	38.1	45.2	44.0	40.5	52.4	11.9
小売	33.3	30.6	41.7	33.3	52.8	19.5
飲食	25.0	41.7	16.7	25.0	33.3	8.3
サービス	53.6	60.7	53.6	53.6	60.7	7.1
住宅	25.0	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	50.0	57.1	46.4	46.4	42.9	▲ 3.5
雇用関連	62.5	50.0	37.5	62.5	37.5	▲ 25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



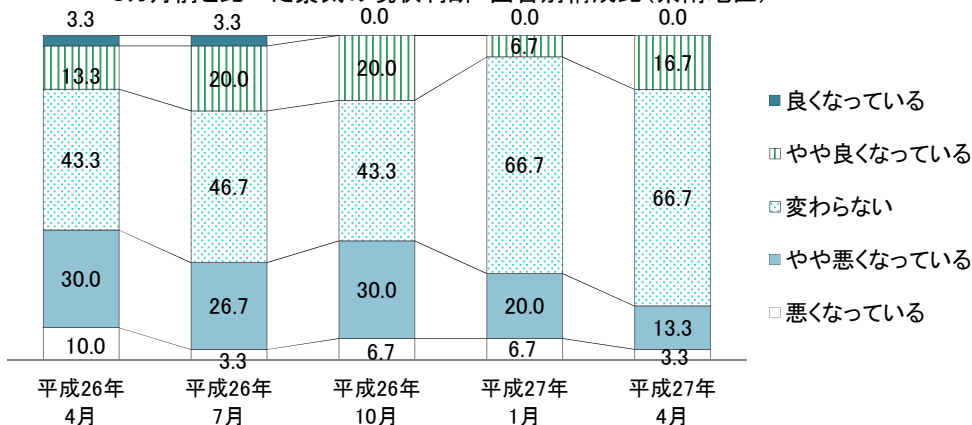
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.3	20.0	20.0	6.7	16.7	10.0
変わらない	43.3	46.7	43.3	66.7	66.7	0.0
やや悪くなっている	30.0	26.7	30.0	20.0	13.3	▲ 6.7
悪くなっている	10.0	3.3	6.7	6.7	3.3	▲ 3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



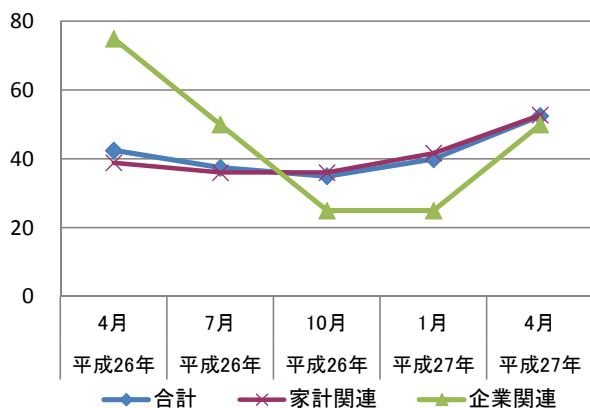
<下北地区> (参考)

①DI

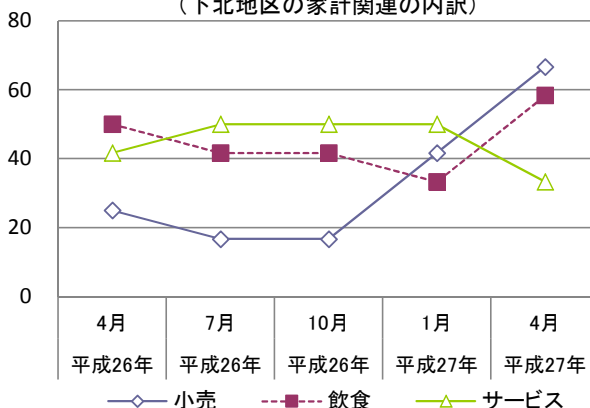
n= 10

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	42.5	37.5	35.0	40.0	52.5	12.5
家計関連	38.9	36.1	36.1	41.7	52.8	11.1
小売	25.0	16.7	16.7	41.7	66.7	25.0
飲食	50.0	41.7	41.7	33.3	58.3	25.0
サービス	41.7	50.0	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



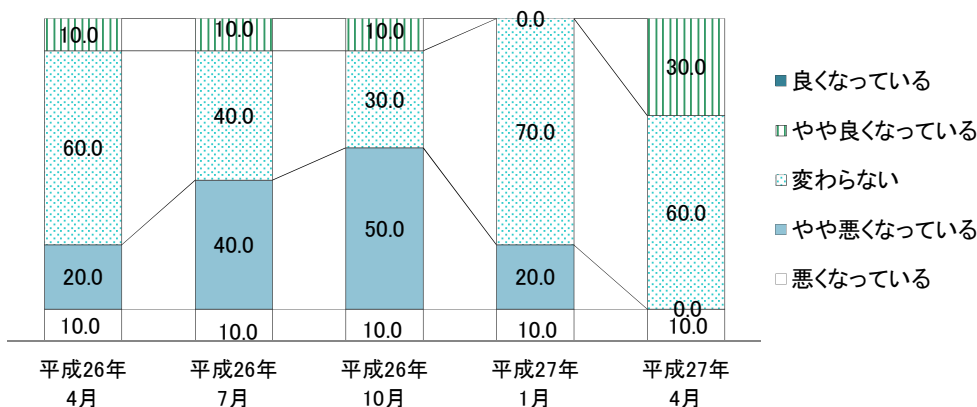
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	10.0	0.0	30.0	30.0
変わらない	60.0	40.0	30.0	70.0	60.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	20.0	40.0	50.0	20.0	0.0	▲ 20.0
悪くなっている	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



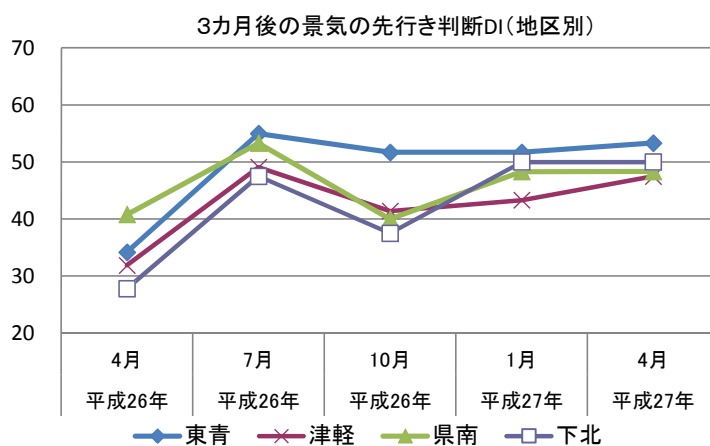
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

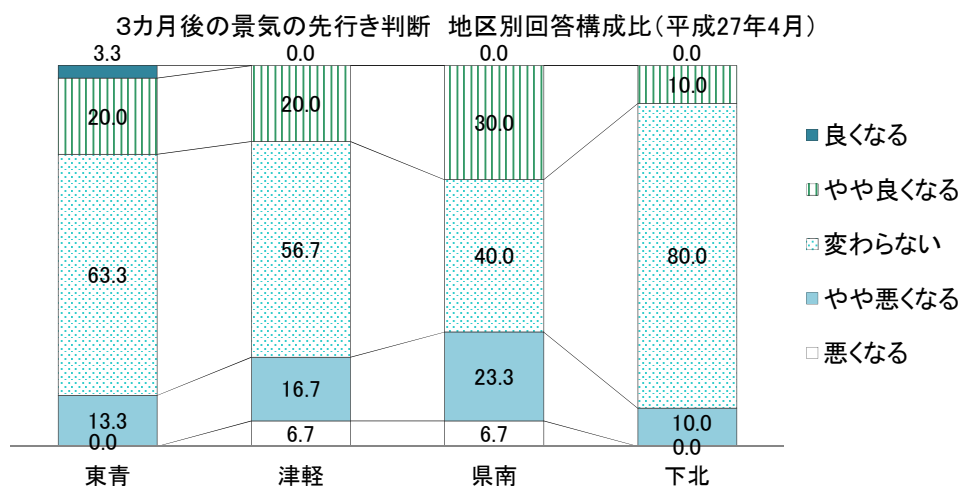
n = 100

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	34.9	52.0	43.7	48.0	49.8	1.8
東青	34.2	55.0	51.7	51.7	53.3	1.6
津軽	31.9	49.1	41.4	43.3	47.5	4.2
県南	40.8	53.3	40.0	48.3	48.3	0.0
下北	27.8	47.5	37.5	50.0	50.0	0.0



②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	30.0	10.0
変わらない	63.3	56.7	40.0	80.0
やや悪くなる	13.3	16.7	23.3	10.0
悪くなる	0.0	6.7	6.7	0.0



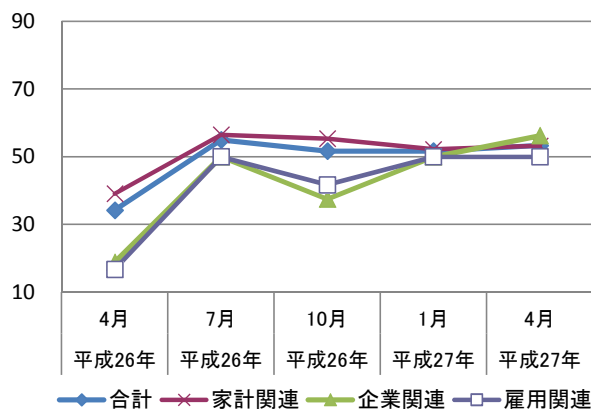
<東青地区>

①DI

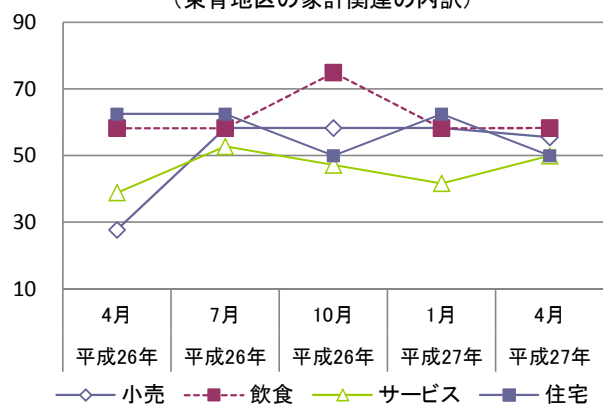
n = 30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	34.2	55.0	51.7	51.7	53.3	1.6
家計関連	39.1	56.5	55.4	52.2	53.3	1.1
小売	27.8	58.3	58.3	58.3	55.6	▲ 2.7
飲食	58.3	58.3	75.0	58.3	58.3	0.0
サービス	38.9	52.8	47.2	41.7	50.0	8.3
住宅	62.5	62.5	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	18.8	50.0	37.5	50.0	56.3	6.3
雇用関連	16.7	50.0	41.7	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



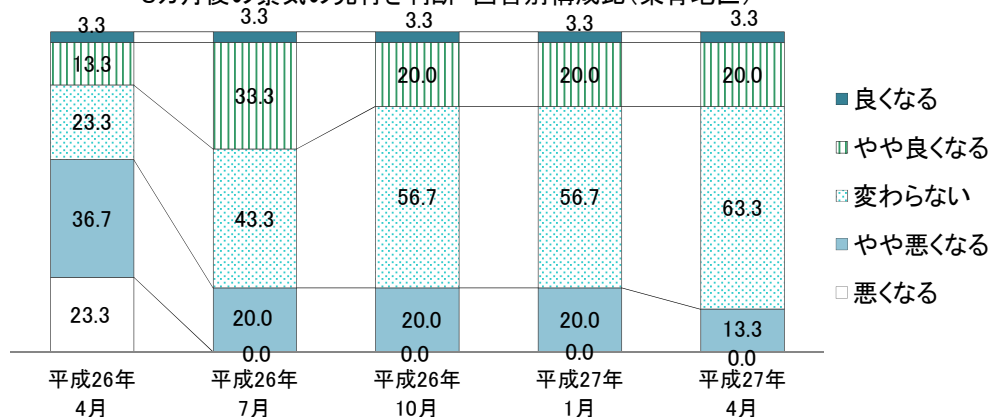
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	13.3	33.3	20.0	20.0	20.0	0.0
変わらない	23.3	43.3	56.7	56.7	63.3	6.6
やや悪くなる	36.7	20.0	20.0	20.0	13.3	▲ 6.7
悪くなる	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



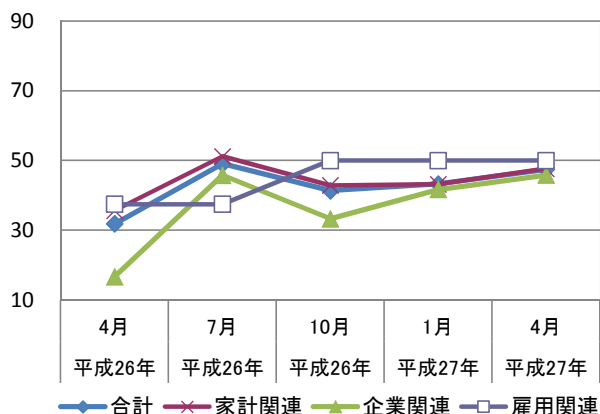
<津軽地区>

①DI

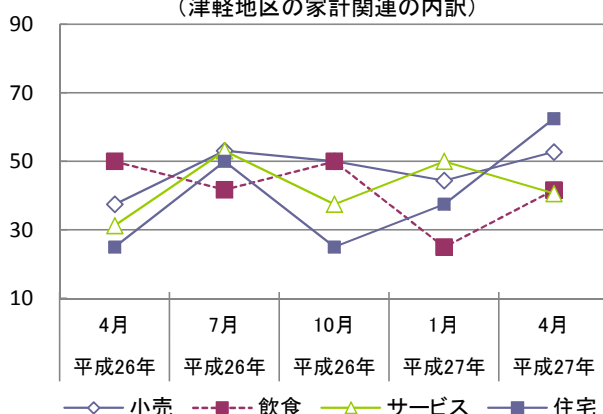
n=30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	31.9	49.1	41.4	43.3	47.5	4.2
家計関連	35.7	51.2	42.9	43.2	47.7	4.5
小売	37.5	53.1	50.0	44.4	52.8	8.4
飲食	50.0	41.7	50.0	25.0	41.7	16.7
サービス	31.3	53.1	37.5	50.0	40.6	▲ 9.4
住宅	25.0	50.0	25.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	16.7	45.8	33.3	41.7	45.8	4.1
雇用関連	37.5	37.5	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



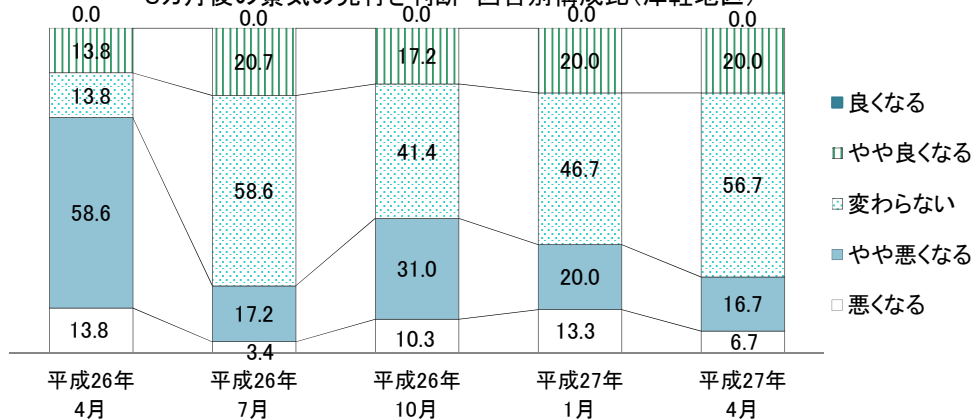
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.8	20.7	17.2	20.0	20.0	0.0
変わらない	13.8	58.6	41.4	46.7	56.7	10.0
やや悪くなる	58.6	17.2	31.0	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなる	13.8	3.4	10.3	13.3	6.7	▲ 6.6

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)

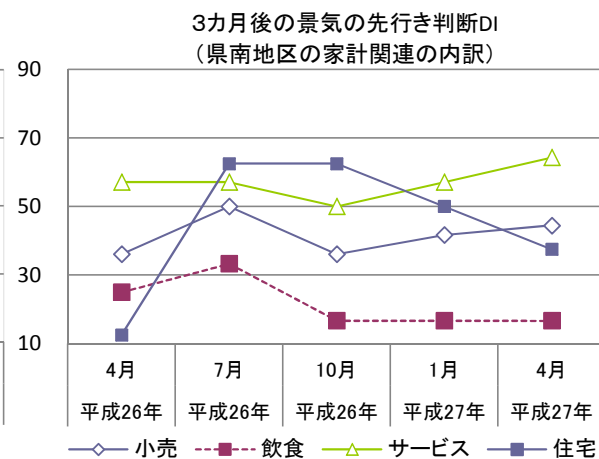
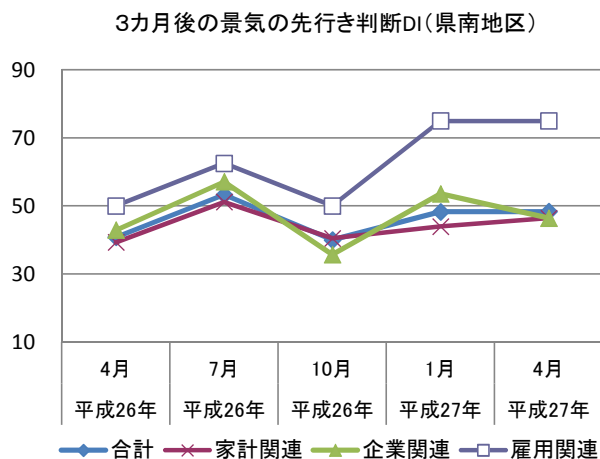


< 県南地区 >

① D I

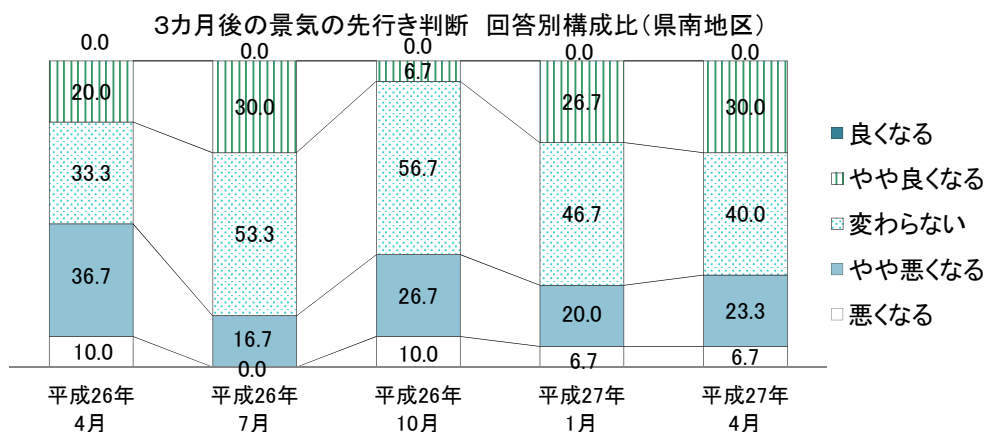
n = 30

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	40.8	53.3	40.0	48.3	48.3	0.0
家計関連	39.3	51.2	40.5	44.0	46.4	2.4
小売	36.1	50.0	36.1	41.7	44.4	2.7
飲食	25.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0
サービス	57.1	57.1	50.0	57.1	64.3	7.2
住宅	12.5	62.5	62.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	42.9	57.1	35.7	53.6	46.4	▲ 7.2
雇用関連	50.0	62.5	50.0	75.0	75.0	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	30.0	6.7	26.7	30.0	3.3
変わらない	33.3	53.3	56.7	46.7	40.0	▲ 6.7
やや悪くなる	36.7	16.7	26.7	20.0	23.3	3.3
悪くなる	10.0	0.0	10.0	6.7	6.7	0.0

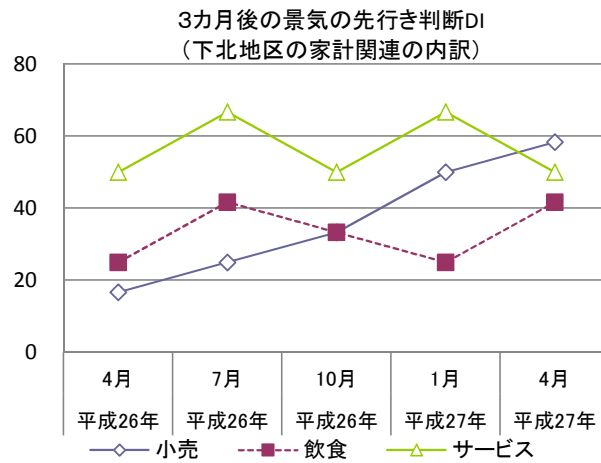
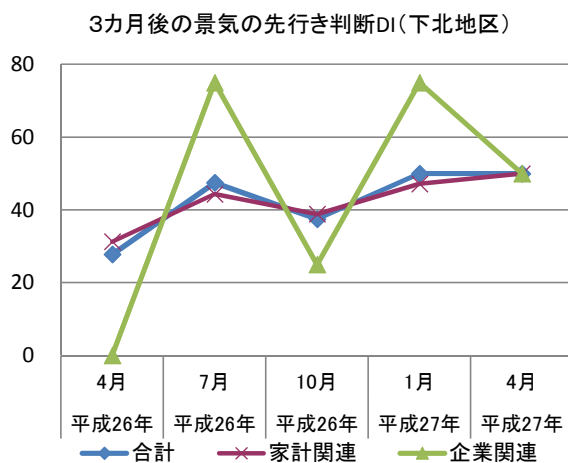


<下北地区> (参考)

①DI

n= 10

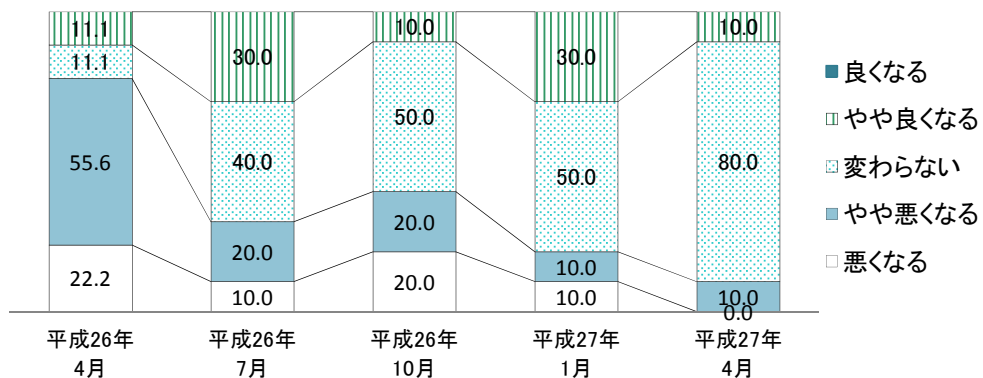
	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	27.8	47.5	37.5	50.0	50.0	0.0
家計関連	31.3	44.4	38.9	47.2	50.0	2.8
小売	16.7	25.0	33.3	50.0	58.3	8.3
飲食	25.0	41.7	33.3	25.0	41.7	16.7
サービス	50.0	66.7	50.0	66.7	50.0	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	25.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	11.1	30.0	10.0	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	11.1	40.0	50.0	50.0	80.0	30.0
やや悪くなる	55.6	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0
悪くなる	22.2	10.0	20.0	10.0	0.0	▲ 10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	主に自店での方針が受け入れられていると思う。(状況にあわせ少しづつ、変化させている)
やや良くなっている	家計	東青	住宅建設販売	春になり、住宅の動きが出はじめてきたため。
			競輪場	2月以降、入場、売上共に好調なため。
			衣料専門店	1、2月は例年並みでした。昨年は消費税の駆け込み需要で3月の数字が良かった。昨年並みは難しいと思っていましたが、天候にも恵まれ春物衣料が好調です。少し付加価値が付いた物が好まれるようです。
			コンビニ	ピーク時間帯の来客数がだんだん増えてきた。
	津軽	美容院	新年度の準備や弘前桜祭りが早まる為に、周りが動いています。	
		都市型ホテル	燃料費(原油)が値下がりした事による。	
		一般小売店	3月は昨年駆け込み需要で今年は昨年に比べられないが、1月・2月は前年よりよくなってきたことと、4月もよく、景気が上向きかげんである。	
		一般飲食店	今年も雪が多かったが、天気のいい日が続き、雪解けも早く、人出も多いように見え、少し売上に影響していると思います。	
		レストラン	季節的なものなのか。現実なのか。ここ何年より良くなっている。	
	県南	美容院	不要な物は的確に見極め、多少高値でも買いやすくなって来ている様に見える。	
		住宅建設販売	3月、4月の転勤や入退去のシーズンのなもの。	
		観光名所等	過去3年間、売上が上向きで客の入込数も年々、増えているから。	
		観光型ホテル・旅館	二極化しているが、良くなっている割合の方が多いと感じる。	
		卸売業	お客様の購買意欲が少しだが増してきている。外飲食店も徐々に客数の増加が認められる。ただし、良いところとそうでないところが二極化している。	
	下北	一般飲食店	例年の3月末から4月にかけてややよくなってきたと感じています。	
		スーパー	前年は消費税のせいで売上ダウン。その反動で本年がよいだけです。	
		コンビニ	真冬の3カ月前と比べると、学生の春休みがあったこと、暖かくなってきたこともあり、特に土日は良くなっていると感じます。	
企業	東青	広告・デザイン	積極的な販売活動を起こそうとしている動きが出てきた。	
	津軽	経営コンサルタント	就労者の割合が増えているように感じる。それに伴い、購買力も上がってきてるようだ。求人への応募が集まりづらくなっており、60歳以上の定年退職者が嘱託で就労し続ける人も増えている。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	旅行代理店	春も早く、北陸新幹線開業など話題はあるが、客足はいまいちです。
			美容院	新生活がスタートする春は出費が増え、買い控えする傾向になりやすい。
			都市型ホテル	冬期間と比べるとやや良くなっているものの、これは例年のことであり、実感できるまでではない。
			設計事務所	地方都市だけが景気浮上出来ず、取り残されている感が続いている。
			商店街	物価の上昇と賃金の上昇がともなわないことで財布のヒモは固い。
			家電量販店	売上が増税による影響が無い2年前と比べ、同程度で推移している為。
			卸売業	小売業の消費低迷は昨年から現在にわたり変化なし。
			タクシー	消費税が8%になってから、人々の流れが少なく、買い物客も少なくなっていて、消費が落ち込んでいるのは3ヵ月前と変わらないと思います。
			スナック	相変わらず悪いです。3月異動で多少なりと忙しい日も有りました。毎日、自分なりの営業しております。お客様有ってのお店ですから。
			スーパー	来店客数については、回復傾向ですが、客単価が低い。
	津軽		旅行代理店	長引く消費税の影響と米価の下落。
			百貨店	昨年の増税の影響からは落ち着いたと思われるが、消費マインドは下がっており、客単価の低下につながっている。
			設計事務所	消費税が10%になる前に建設を急いだ方が多い。税UPがいつになるか不透明になった現在、急いでという感がなくなった様に思える。
			乗用車販売	消費税増税から消費の冷え込みが続いている。
			衣料専門店	株高になったものの、生活用品、衣類の物価上昇。
			パチンコ	株価上昇など好材料がある一方、所得は変わらず（年金への不安や）将来不安が強いと思う。
			タクシー	景気上向きの要因が全然見当たらない為。
			スナック	毎日の動きに変化がない。
	県南		旅行代理店	売上の伸びにつながっていない。
			百貨店	消費増税から1年経過したものの、食料品を中心に相次ぐ値上げがあり、購買行動が慎重になっていると思われるため。
乗用車販売			全般的にお客様の財布の紐が堅いと感じる。	
家電量販店			前年が増税特需で比較できない為、前々年と比較するとあまり変わっていない。	
一般飲食店			4月から値上げラッシュになりちょっと良かった景気が冷え込むのではと思われる。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	衣料専門店	1月、2月は雪の影響もなく天候に恵まれ、春物衣料も好調でしたが、3月に関しては、昨年の駆け込み需要の影響を受け厳しい状況でした。
			タクシー	消費税が影を落としている。中央の大手企業のように、地方には目に見える効果は感じられない。
			スナック	増税による消費が伸び悩みしているかも、静か。
			スーパー	単価ダウン、高額品低迷、2極化がさらに進んでいる。値上げ続き、消費低迷。
			コンビニ	新卒者の採用等ない様に思える。
			ガソリンスタンド	当社にて販売している商品（燃料や住設機器家電品）の販売状況をみた時、大きな変化はないように感じている。
		下北	都市型ホテル	相変わらず売上は低調なまま推移している。
			一般小売店	昨年の増税前後の駆け込み、買い控えが無かったため、3ヵ月前と比べ、変わらない様に思います。数字だけみれば、急に客足の鈍った昨年の4月と比べ、一昨年の4月並になりそうです。3月はやはり売上が落ちました。
			レストラン	4月から物が値上がりしてきているので先が少し不安。
			ガソリンスタンド	全体的には良くも悪くもなった気がしません。今年に入ってから雪が少なかったため、冬物を扱っている業種や除雪業者は良くないと思いますが、家計や市の財政は助かったと思います。
	企業	東青	食料品製造	春になり注文したくなる気配だが、年度末でもあったので、在庫の関係か、渋い。ギリギリの注文とを感じる。
			津軽	電気機械製造
		津軽	食料品製造	同業社の倒産が増えている。
			広告・デザイン	特段、新築工事見込み数が増えている訳でもなく、見積依頼件数も同様に多くはなかった。
			県南	電気機械製造
		広告・デザイン		悪い意味で変わらない。ただ、最近、倒産が目立つように感じる。
経営コンサルタント		堅調に利益を計上している企業とそうでない企業が半々ずつとこの1年間変わらず推移している。		
飲料品製造		ようやく「消費税増税」という感覚から脱出してきている。ただ、必要なものに対する消費が進むだけで、日本酒など嗜好品などは苦戦中。		
下北		食料品製造	昨年4月の消費税増税時よりは良いと思うが、桜も早そうだし、今年の観光は北陸へ行くようだし。	
		雇用	東青	一部の企業で賃金の見直し、賃金の見直しまではいかないものの、福利厚生等に見直し等に資金を直入できる状態の企業が出ている。
津軽	昨年4月の消費税増税後から一年たった今も、消費者の財布のひもが緩いでいない。さらに円安等による原材料高で、日常生活必需品の高騰が加速しているため、消費は増えない。			

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	雇用	津軽	新聞社求人 広告	消費税増税から1年が経過したが、津軽地方は増税の影響が色濃く残ったまま。円安や原材料の高騰などで先行きは楽観できない。
		県南	新聞社求人 広告	特に変化がない。
やや悪くなっている	家計	東青	乗用車販売	お客様との会話の中にも景気が良くないと出ている。
			レストラン	1月、2月は雪が多く、外食という感じではなかったと思うが、3月も意外に動きは少なかったし、お客様の単価も下がっている。
		津軽	商店街	空き店舗の増加より。
			住宅建設販売	実質手取り賃金が下がっている中、日常必要とされる物を中心にした消費者物価が上がっていて生活が苦しくなっている様です。
			観光名所等	諸物価の値上がり、福島原発の影響、天候。
			観光型ホテル・旅館	予約状況が芳しくない。宿泊、日帰り利用者の低価格志向が加速しているよう。(イコール薄利になる)
			コンビニ	桜が咲く頃に人が動くと思っています。まだ活動(行楽等)していません。
	ガソリンスタンド	12月の大雪のわりに1~3月が暖冬で、冬季生活必需商品の売上げがイマイチでした。		
	県南	設計事務所	入札でダンピングが多くなった。	
	企業	東青	経営コンサルタント	年末のボーナスはほぼ前年並み、消費は横ばいしないし若干下降。
		津軽	飲料品製造	消費税増税後の消費の落ち込みにより思うように売上が増大しないので。
		県南	食料品製造	物価上昇による値上げ等の対策に対する反応が悪い。
			建設	昨年受注した民間工事もほぼ消化したが、次の案件があまり出てこない。
雇用	東青	新聞社求人 広告	消費税増税直後の昨年よりも、広告出稿が減っている。	
悪くなっている	家計	県南	レストラン	4月は選挙がある為、その影響もあり、飲みに出るお客様が減る為、売上が下がる。
		下北	タクシー	売上が減っている。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	これからの季節には特に何も問題はないので、普通に良いと思う。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	ピーク時間帯の来客数がだんだん増えてきた。
			スーパー	前年の3月は消費税増税前の駆け込み需要で売上高が高く推移しましたが、4月以降に売上高が大きくダウン。今年は前年の反動が出る。
			衣料専門店	地方にアベノミクス効果は直接的には届いていないようですが、報道などから景気の明るさは感じられ雰囲気はいいです。景気は”気”からで、期待できると思います。
			パチンコ	大都市での好景気で地方にも恩恵が得られるという安心感で多少消費が増えると思います。
	津軽	コンビニ	ゴールデンウィークや行楽・イベントがあるので人が動くようになります。	
		商店街	春から人出が増える。	
		一般飲食店	春近し今年桜が早咲きということで年間を通してみるとやっぱり観光客が多いと売上にも景気にもつながっているように思います。	
		設計事務所	雪国独特の現象ですが、雪が溶けて建築ラッシュに突入します。冬の間の仕事量を換算すると建築業者の仕事量は例年よりもUPするのではないかと思います。	
	県南	家電量販店	天候次第です。(前年はやや冷夏でした)	
		観光型ホテル・旅館	業界にもよるが、観光業はインバウンド(訪日外国人客数増)増加により、ビジネスチャンスが広がっている。	
		観光名所等	冬も終わり、客の数も増えてきているので。消費税10%になるまでは悪くならないと思う。	
		旅行代理店	取引先で工場設備や賠償責任保険などに前向きに付保する案件が出てきた。	
		美容院	統一選後、政府の目標が実行に移される期待と、賃金アップの浸透など良い材料が整いつつあると思う。	
	下北	コンビニ	これから暖かくなり、地域の催しもの、祭りなどがあると外出する回数も増え、景気は良くなると思います。気温の状態で変動はありますが、これからの一番いい時だと思います。	
	企業	東青	広告・デザイン	昨年の消費税増税後の買い控えも落ちついてくると思われ、積極的に販促活動をする動きが活発化すると想定。
津軽		経営コンサルタント	企業は、頑張っている優秀な社員に少しでも給与で差を付けたいと考えは始めている。まずは賞与からという話を良く聞く。昇給や賞与が購買力に繋がっていくと思う。	
県南		飲料品製造	消費税増税の影響がさらに薄れて、多少消費に対する意欲が上がると思う。しかし、消費物の選抜はより厳しくなりそう。	
		経営コンサルタント	給与の増額(昇給)をする企業が増えているのでよい結果に進むのではないか。	
雇用	県南	新聞社求人広告	希望的観測。	
変わらない	家計	東青	家電量販店	原油価格下落や株高等、好材料は有るものの、雇用状況の改善が進まない中で、食料品等の値上がりが家計を圧迫する為。

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	商店街	4月からの値上げ商品が目白押しで、買い控えの傾向は続く。	
			スナック	お客様の話題ですと変化ない。このままの状態の青森ではないかとの事です。私達飲食業は大変ですね。	
			都市型ホテル	宿泊や宴会等の予約状況は前年と変わらず、食品関係の値上げの動きがあり、今後の動向が気になります。	
			タクシー	4月から物価も上がったし、今後3ヵ月先も何も変わらないと思います。選挙も多いので人々の動きが悪くなると思われます。	
			美容院	実質賃金が増えない限り、消費は伸び悩む。	
			ガソリンスタンド	人口減少が需要と消費を減退させることは確実なので、なかなか心理的に上向かない。	
			設計事務所	新年度に入り官公庁発注業務で基盤が持続出来るかどうか、期待したい。	
			住宅建設販売	特に大きな景気対策がなされていないため。	
	津軽			百貨店	店内施策により積み上げは可能だが、景気の上昇による売上増は多く見込めないと考えている。
				乗用車販売	消費冷え込みを解消する要因が見つからない。
				衣料専門店	賃金アップ事業所ほとんどなし。
				家電量販店	増税後の回復は予想以上にもたついた。今年に入り回復基調。今後の商品価格、所得が消費を左右していく。
				一般小売店	去年の4～6月は増税後の落ち込みがすごかったので、今年が良いのは当たり前だがいろいろな物が値上がりしているの、消費は伸びないであろう。
				レストラン	今のままで続けてくれれば良いが何とも言えない。
				観光型ホテル・旅館	判断が難しいが、良くなる材料がない。北陸新幹線金沢まで開業で関東の人たちは北陸へ向いています。
				都市型ホテル	消費税増税に対する景気対策がはっきりしない。
				旅行代理店	インパクトのある良い情報が少なく、益々格差が広がるのではないか。
				住宅建設販売	消費者は価格を第一条件に業者を選んでいる為か、仕事の量は例年通りに近いが、質が悪いのが多い様である。
	県南			コンビニ	客数、客単価上がってほしいが、上がらない。
				百貨店	地方は株高やインバウンド等の恩恵も期待できず、大手の賃上げ効果も波及していると思われないため。
				スーパー	食品の値上げがさらに続く。その他、非食品、原料高騰での値上がり、所得は増える要因が無い。保険料値上がり。
乗用車販売				ゴールデンウィーク等、レジャーに出費の反面、日常での出費は控えると予想される。	
一般小売店				先日、株価がここ数年来の最高値を更新したらしいが、諸物価の高騰が予想以上であり、庶民の生活は全く良くないのは確かだ。	
卸売業				少し回復基調にあったが、各メーカーの値上げラッシュが足止めになるのではないかと不安材料。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	タクシー	地方選挙が終わって早々に景気浮揚につながるようなことはできないと思う。
			パチンコ	変わる要素なし。
			ガソリンスタンド	中小企業の多い当地において、報道されているような大幅な賃上げが期待できないことから、大きく変わることはないように思う。
		下北	スーパー	価格競争が激しくなりそう。
			一般小売店	増税後1年経過し、やっと経済的に安定してきたのかなと思います。しかし、簡単に上向く事はなく、今の状況が続いていくと思います。国会で増税の話が出るとすぐに生活防衛に入り、景気は簡単に下向きになると思います。
			一般飲食店	今のところは良くなってきたように感じますが、あとどのようになるのか全然見通しがたちません。
			都市型ホテル	GWに向けた予約が伸びてこない。
	タクシー		良くなる要素が何も無い。	
	ガソリンスタンド	将来的によくする気配も無いですし、これ以上、悪くなる要素も無い感じです。		
	企業	東青	経営コンサルタント	石油関係の値下がりも一服し、円安に伴う輸入食品及び原材料の上昇から国内生産品にまで値上がりの状況にある。反面賃金の上昇は中央の状況とは程遠く、横ばいしないし若干の上昇に止まる。景気の状態は良くて横ばいがしばらく続くと見られる。
			食料品製造	各所で値上がりがまたはじまっている。
		津軽	食料品製造	原材料の高騰、人材の確保等自助努力でどうにもならない事が増えている。
			飲料品製造	消費の回復が思わしくないのだ。
電気機械製造			客先からの情報によると夏頃までは今の受注量が続くため。	
広告・デザイン			良くなる要素に乏しく、工事受注数も増加していない。現状より悪くならなければ良いという話ばかり。	
県南		食料品製造	エネルギー関連を除くと景気改善に資する材料が見当たらない。	
		電気機械製造	国内需要は多少増えているが、海外、特に中国向けが伸びていないので、その影響は受けると思う。国内のマインドが上がる効果で景気が上向けばよいが果たして。	
		下北	食料品製造	せめて変わらない事を念じて。
雇用		東青	人材派遣	資材、原料等の値上がりに収入が追いつかない。または追い越せない企業も多い為。
	新聞社求人広告		期待したいが、好材料が見当たらない。	
	津軽	新聞社求人広告	好材料が見当たらない。	
やや悪くなる	家計	東青	卸売業	4月1日より、加工食品、ウイスキー等々が値上げしている為。消費者の財布のヒモはよりかたくなる様子がある。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	レストラン	ゴールデンウィークは県外からのお客様もいるので、さくらの開花日も影響するかも。
			観光名所等	物価の値上がりが家計に影響を及ぼす。
			旅行代理店	バス代の料金改定も有り、旅行単価が高くなった分、客数が減るのでは。
		津軽	観光名所等	ガソリン等の値下がりはあるが、大型バス、長距離バスの2人体制による値上がり。祭りの会期と花の咲く時期のずれ。
			タクシー	円安の影響で食料品の価格が上がってきているので今後消費はますますシビアになっていくと思う。
			パチンコ	消費増税への不安が消費を抑制する心理にしている。
			ガソリンスタンド	ドル高、円安の影響で4月からまた輸入品の値上げや自動車税などの値上げが景気を悪くするのでは。
		県南	衣料専門店	2月から3月にかけて値上げが相次ぎ、これからも値上げ予定がある中で所得増も期待できず、節約志向が強まっているように思います。景気が良くなるように思えません。
			一般飲食店	良くなるとういう要因が、値上げによることで吸収され、購買欲がダウンすると感じられる。
			スナック	年末からずっと人の流れが少ない中、より静か。
	設計事務所		新入札方式が大手に有利ではと思う。	
	企業	県南	紙・パルプ製造	円安による輸入品値上がり、食料品の値上げ等。
			建設	設備投資の話があまり聞かれない。
			広告・デザイン	高額商品の売上げが下がっていると聞いている。
悪くなる	家計	津軽	スナック	4月からの物価の値上げも影響してくると思う。
		県南	レストラン	消費税の引き上げが、じわじわと仕入れや生活に影響してきている為。

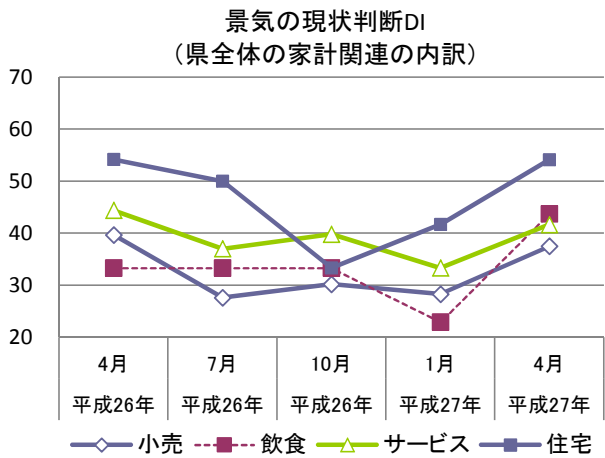
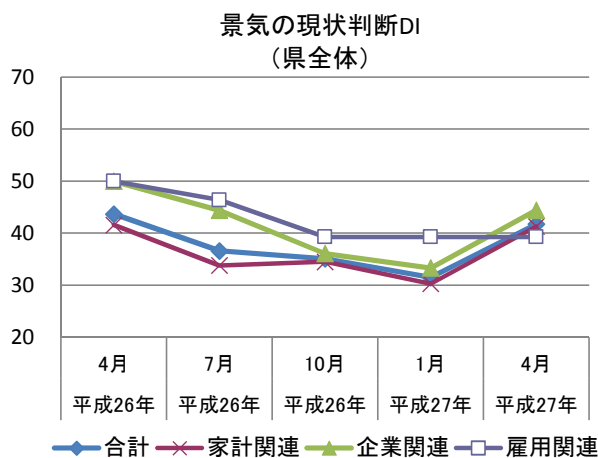
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

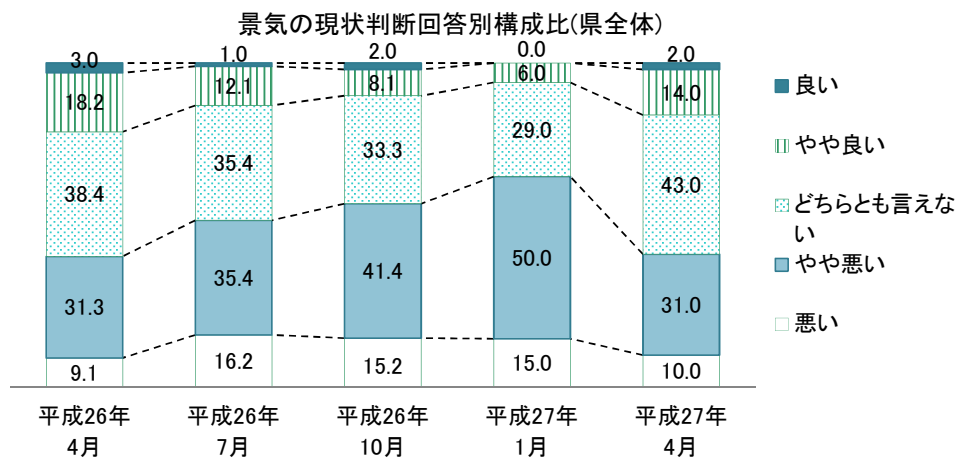
n = 100

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	43.7	36.6	35.1	31.5	41.8	10.3
家計関連	41.6	33.8	34.5	30.3	41.3	11.0
小売	39.7	27.6	30.2	28.3	37.5	9.2
飲食	33.3	33.3	33.3	22.9	43.8	20.9
サービス	44.4	37.0	39.8	33.3	41.7	8.4
住宅	54.2	50.0	33.3	41.7	54.2	12.5
企業関連	50.0	44.4	36.1	33.3	44.4	11.1
雇用関連	50.0	46.4	39.3	39.3	39.3	0.0



②回答別構成比 (%)

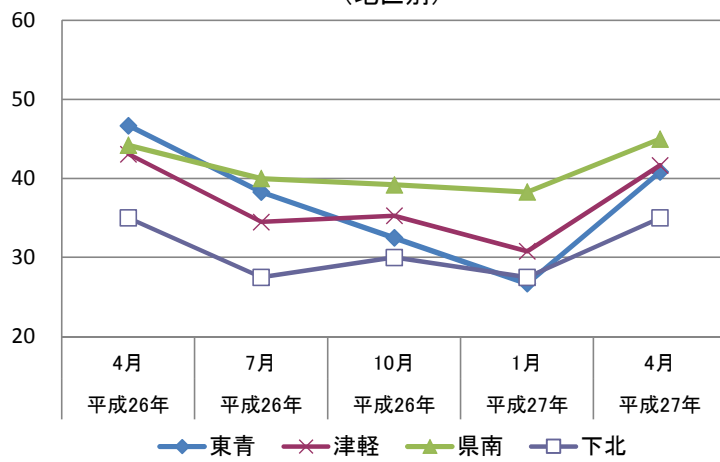
	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
良い	3.0	1.0	2.0	0.0	2.0	2.0
やや良い	18.2	12.1	8.1	6.0	14.0	8.0
どちらとも言えない	38.4	35.4	33.3	29.0	43.0	14.0
やや悪い	31.3	35.4	41.4	50.0	31.0	▲ 19.0
悪い	9.1	16.2	15.2	15.0	10.0	▲ 5.0



③地区別DI

	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	前期調査 との差
合 計	43.7	36.6	35.1	31.5	41.8	10.3
東青	46.7	38.3	32.5	26.7	40.8	14.1
津軽	43.1	34.5	35.3	30.8	41.7	10.9
県南	44.2	40.0	39.2	38.3	45.0	6.7
下北	35.0	27.5	30.0	27.5	35.0	7.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	百貨店	駅前・新町通りで空店舗・貸物件が目立つ。
		衣料専門店	一年間を振り返って商店街で実施しているセールスイベント（レシートラリー等各種、年数回実施）は4月の消費税実施後も好調でした。消費者の財布は開いていて、期待される品物が提供されているかが問題なのかも。消極姿勢が心配。
		一般飲食店	駐車場ばかり増えて、お店が少なくなりどうするんでしょうね。行政でもう少し街中を何とかして欲しいです。例えば、集客できる本当の意味での人気のものや、業界でも特に名前の通った店などをもって何とかして欲しい。
		レストラン	去年と比べて、単価は下がっている一方で、食材関係の値上がり。
		タクシー	他県の観光客（タクシーで観光するお客様）が少なくなりました。
		美容院	春になると、気分的に明るくなっている方が多くなるので、気分が上がることを期待したいものです。
		住宅建設販売	住宅の木材、建築資材がアップしてきている。
	津軽	コンビニ	ワンコインランチと言う雑誌が県内で売っていて主婦の間で話題になっています。主婦が動くと言った経済効果が上がると考えます。
		一般小売店	りんご農家の方は少し景気が良さそうである。反面、米農家は大変そうである。あと、中国からの留学生などは富裕層らしく、景気よく買い物をしている。
		一般飲食店	4月からの食品の値上げ、市民の生活、年金暮らしをしている人、ますます生活が苦しいと言う声も多く聞かれます。
		観光型ホテル・旅館	2月、全国中学校スキー大会が大鰐・秋田で開催され、売上増になりました。今後、28年、29年に全国大会（高校・大学）が予定しているので大変有りがたいです。桜まつりが始まると観光シーズン到来となり、やっと閑散期から抜け出せます。
		観光名所等	弘前城移動イベントに期待。景気刺激策に期待。
		旅行代理店	統一選挙がある月は商業の活発化が低下する傾向がある。
ガソリンスタンド		日銀の金融緩和政策でデフレを解決と言っているが、円安の影響で物価だけが上がっている様に感じる。大企業本位の政策に見える。	
県南	設計事務所	県内にも新規コンビニ店が参入するという事で、既存コンビニ店の動きも活発になって来ています。仕事上、深くかかわる点も多く、売上の増大のチャンスな年だと思います。	
	コンビニ	貨物船に乗ってくる作業員の方々、日本人は元より、中国人、ロシア人、タイ人の姿が全く見られなくなった。近くのコンビニより、遠くのショッピングセンターと言うことか。	
	スーパー	子どもさんへはお金を投資する傾向は高い。少子化、高齢化、少量、多種、健康食品、国産、減塩への関心がさらに高まっている。	
	乗用車販売	消費者の購買意欲の減退傾向が続いている。（消費刺激策を講ずるも反応が薄い）	
	一般小売店	円安の影響が春頃から至る所で見え始めた。特に中国に生産を依存する物が約20%ほど値上がりしている。	
一般飲食店	ローカルの不況の実態を中央にどんどん情報を流して欲しい。		

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	スナック	1 2月だけ回復、1月からどうなるのかと。
		観光型ホテル・旅館	企業の良し悪しの二極化、個人の二極化がさらに進んでいると感じる。
		タクシー	今冬は降雪が少なく、市民の足が確保されており、タクシーの出番が少なく、冬場の売上はガタ落ちである。
		美容院	ワンコインランチとか、ラーメン、居酒屋など飲食業界の各種企画にノリノリの方が多く見えて来て、春～夏に向かって楽しみです。
		ガソリンスタンド	都市と地方の格差、賃金アップなど、また大企業による雇用の増加などの影響からか、社員の確保が困難になっている。地方創生活活性化の施策の早期対策を望んでいる。
	下北	一般飲食店	いつもの通りですが、明日の見通しは全く分かりません。このまま良くなってくれば良いかと祈るばかりです。アベノミクスとやらがこれからどのように動くのか、心細く思っています。又、安心もしたいですが。
企業	東青	建設	報道では「建設好況」といわれているが、青森市の建設業界の景気は全く良くありません。
		津軽	食料品製造
	津軽	電気機械製造	円安や株高により一見景気が良いように感じますが、反面、円安による原材料の値上がりなどマイナス要因もあり、今後の景気の動向が全く分からない状況です。
		建設	H27年度もスタートし、新規受注を期待している。今年は昨年以上に厳しいと覚悟してしまう現実がある。今年度発注を少しでも早くしてもらい、チャンスがあればいい。青森県の選挙投票率が低いのはなぜだろうか。全国最下位2年連続はちょっと恥ずかしい。
		経営コンサルタント	物価や賃金の上昇のため、学習塾等のソフト分野の料金等も値上がりしてきている。
	県南	広告・デザイン	コンビニ最大手のセブンイレブンが県内に進出してくるが、この業種も開店、閉店を繰り返す、賑やかになると思われるが、様々仕掛けるのは中央資本企業ばかり。業種を問わず、県内各企業ももう少し元気にならなければ。
		電気機械製造	食品やサービスの価格がじわじわ上がっていて、生活を圧迫している。地産地消や地元資本の店が繁盛するなどして、地域でお金が回っていくように変わっていけば良いのですが。青森は特に都会から遠いので効果が大きいと思います。
広告・デザイン		今後、さらに、消費税アップとなれば資金力のない企業は、先行き不安ばかりだろう。	